



平成28年11月10日

各位

会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
代表者名 代表取締役 真鍋 吉久
(コード: 6466、東証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長 飯田 明彦
(TEL. 06-6416-1150)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成28年11月10日開催の取締役会において、以下のとおり、平成28年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成27年11月12日公表)	前期実績 (平成27年9月期)
基準日	平成28年9月30日	平成28年9月30日	平成27年9月30日
1株当たり 配当金	15円00銭	－(未定)	40円00銭
配当金総額	34百万円	－	93百万円
効力発生日	平成28年12月26日	－	平成27年12月24日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

2. 理由

当社の利益配分は、過去の持株会社体制によって培われたグループ経営の手法を活かし、経営資源の最適配分による効率的な活用で最大限の利益を生み出し、安定した配当を実施することを基本方針としており、株主様に長期・安定的に株式を保有いただけるような配当政策を実施しております。

当期の連結業績は、前期に比して減収減益とはなりましたが、大幅な業績改善となった前期に引き続き黒字とすることができました。また6月には4期ぶりに中間配当を再開し、9月には自己株式取得を実施することで株主還元に取り組んでまいりました。

しかし経営環境そのものは依然、主要事業である原発関連マーケットに不確実性を有し、来期の業績想定も、売上高83億円、営業利益1億円を見込むものの、多くの不確定要因が潜在し、その達成は決して楽観視できるものではないことから、まだまだ、継続的且つ安定性の高い経営環境が整ったとは言えない状況です。

引き続き、攻めの営業活動で収益拡大を目指すとともに、当期実施した株式会社キッツとの業務提携を重要施策として推進することで、業容拡大と業績の安定化に全力で取り組んで参ります。

については配当方針に基づき、これら状況・背景を勘案し検討した結果、当期期末の普通配当は1株あたり15円とさせていただきます。前述のとおり、中間配当15円を本年6月に実施いたしましたので、年間配当金は1株あたり30円となり、これは前年の同40円から減配となりますが、係る結論に至った背景・状況については上述の通りでございますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上